

常設展示のご案内

千早赤阪村立郷土資料館では、村の歴史に関わる資料等を展示しています。

1 階展示室

古代

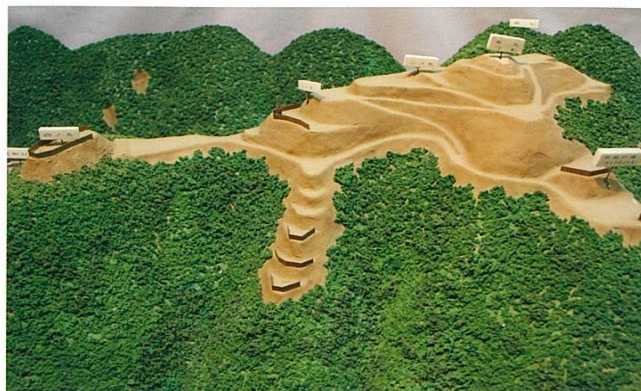
かつて村の北部には、御旅所古墳・御旅所北古墳、森屋古墳群などが築かれました。出土した土器や採取された土器などを展示しています。



御旅所北古墳出土土器群

中世

本村では南北朝時代に活躍した楠木正成公が千早城・楠木城（上赤坂城）・赤坂城（下赤坂城）などの山城を築き、幕府軍との戦が行われました。これらの山城は国史跡として指定を受けています。資料館では、山城跡の発掘調査時の写真パネルや出土遺物、正成公生誕の地という伝承の残る楠公誕生地遺跡から出土した遺物、千早城跡の模型などを展示しています。



千早城跡ジオラマ



国史跡楠木城跡出土品



楠公誕生地遺跡出土品

たけみくまり 建水分神社の木造狛犬群（村指定文化財）

当館で展示している木造狛犬群は合計4対8躯あり、国の重要文化財である建水分神社本殿に安置されていたと考えられ、楠木正成公が活躍した南北朝時代前後の作と推定されています。村にとって貴重な文化財であると考えられ、平成27年8月に村指定文化財に指定されました。



近世・近代

本村には令和2年度に日本遺産に認定されました「葛城修験」－里人とともに守り伝える修験道はじまりの地の構成文化財の一つ「多聞寺跡」が千早地区内にあります。当館では修験者に関する資料についても一部展示しております。



修験者の装束

2 階展示室

2階展示室では、民俗資料を中心にむかしの千早赤阪村の暮らしを展示しています。

千早の凍豆腐づくりとその道具（村指定文化財）

凍豆腐とは、現在の「高野豆腐」のことです。昭和初期の千早村（現・千早地区）では、凍豆腐の製造が盛んに行われていました。現在、村内での凍豆腐の製造は全て終了しています。村にとって後世に継承していく必要があるとして、平成31年4月に村指定文化財として指定されました。

